

令和8年度 理科 シラバス

1 教科の目標 (中学校学習指導要領 (平成29年告示) より)

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 三年間の指導計画の概要

学期	第1学年	第2学年	第3学年
一学期	いろいろな生物とその共通点 ・身近な生物の観察 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類 身の回りの物質 ・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質	<第1分野> 化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方	化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリと塩 生命の連続性 ・生物のふえ方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化
		<第2分野> 生物の体のつくりとはたらき ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき	
二学期	・水溶液の性質 ・物質の姿とその変化 光・音・力による現象 ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象	<第1分野> ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量 電流とその利用 ・電流の性質	運動とエネルギー ・力の合成と分解 ・水中の物体に加わる力 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー 宇宙を観る ・宇宙の正体 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方
		<第2分野> ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ 地球の大気と天気の変化	
三学期	活きている地球 ・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地	<第1分野> ・電流の正体 ・電流と磁界	・宇宙の中の地球 自然界のつりあい 様々な物質の利用と人間 科学技術の発展 人間と環境 持続可能な社会を目指して
		<第2分野> ・地球をとり巻く大気 ・空気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	

3 授業に向けて

(1) 授業の持ち物

教科書「未来へひろがるサイエンス」、(啓林館)、ノート、筆記用具(色ペン含む)、タブレットパソコン、その他授業者や理科係からの連絡で持ってくるように指示されたもの

(2) 授業の受ける際に気を付けてほしいこと

ア 学習内容に関心をもち、前向きな気持ちで授業に臨みましょう。

イ 一人で考える時間は、静かに自分の考えをまとめましょう。

ウ グループで考える時間や話し合い活動では、分かりやすい説明・伝え方の工夫をして、自分の考えを伝えるとともに、相手の考えを聞くときは、まずしっかり聞きましょう。

エ 実験は、安全第一です。操作上の注意事項を守り、説明のとおりには操作をします。また、積極的に準備や片付け、操作をしましょう。すべての人が同じ作業をしないこともあります。グループで話し合い、適切に役割分担をしてください。

オ 学習シートや実験プリントの作成は、丁寧に取り組みましょう。また、提出の際には期限を守りましょう。

4 家庭学習の方法

(1) ノートやプリントの見直しなど、授業内容の復習に取り組みましょう。

(2) 問題集に繰り返し取り組みましょう。できるところは、意欲的に何度も解き直しをし、知識を定着させましょう。

5 評価の観点と項目例

(1) 知識・技能

自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な、観察・実験に関する基本操作や、記録などの基本的な技能を身に付けている。

<項目例>

定期考査、実験プリント・レポート、ワークブック、小テスト、実技テストなど

(2) 思考・判断・表現

自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

<項目例>

定期考査、実験プリント・レポート、ワークブック、小テストなど

(3) 主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

<項目例>

定期考査、実験プリント・レポート、ワークブック、小テスト

授業や観察・実験への取り組みの様子やレポートの内容、振り返りに関する記述内容
ノートづくりやワークブックへの取組、提出状況など

